



I Like it!!  
これが すき!!

### 凛とした空気の中で 心を静めて刀を握る

**居合術**  
神刀柔進会

昭和50年頃から総合体育館で活動している歴史のある会です。現在は代表である長尾さんの指導のもと、30代から70代まで6名の会員が、心身の鍛錬を目的に活動をしています。

一人で行う型の稽古が中心となつていきます。

その中でもこの会は、先代が苦小牧で創始した無限神刀流という流派を伝える会です。会員の皆さんは正座や片膝をついた状態などから始まる41の型を、号令に合わせて自分の動きを確かめながら練習しています。

代表の長尾さんは、刀が好きだったことが始めるきっかけになったそうです。普段の練習では模擬刀を使いますが、真剣を扱う数少ない武術の一つであることが大きな魅力でもあります。69歳で6年目の会員の方は、「型が多くて最初は大変だったけど、できるようになったときに達成感がある」と語りました。また、「鏡を見ながら一人で練習できるので、体力に合わせて自分のペースでできる」とも教えてくれました。以前は女性の会

# 市民のひろば



員もおり、年齢や性別などに関係なく続けられることも魅力の一つのことです。

主な活動は週に1度の練習です。長尾さんは苦小牧では演武の場は少ないと話しますが、本州にも支部のあるこの会を、「若い人にとんどん繋いでいきたい」と、想いを語りました。

取材当日は、皆さんが一列に並んで型を披露してくれました。掛け声に合わせて素早い動きで刀を抜く侍たち。そのりりしい姿からは、目の前に相手がいるかのような緊張感が伝わってきました。

**居合術 神刀柔進会**  
代表 / 長尾 全祐さん  
☎73-8505  
活動日 / 毎週月曜日  
19時~21時  
活動場所 / 総合体育館



今月の表紙

~夏が来た!~

7月1日(金)のキラキラ公園(北埠頭緑地公園)での一幕。夏らしい陽気が漂いはじめ、たくさん子ども達が、日差しをいっぱい浴びながら元気に遊んでいました。



7月7日(木)に総合体育館で第32回老人オリンピックが開催され、市内42の老人クラブからこの日のために練習を積み重ねてきた約千人が参加しました。会場全員での体操のあと、



数字合わせ競争などの個人種目、輪投げリレーや玉入れなどの団体種目が行われ、優勝を目指して各クラブが火花を散らしました。参加者たちのはつらつとしたプレーや仲間を応援する声援で、会場は熱気にあふれていました。

いきいきと目指せ優勝  
老人オリンピック開催

## タウンスケッチ

~まちの出来事~



Town Sketch

日本の伝統に触れる  
前期子ども体験教室

小・中学生を対象に、日本の伝統文化に触れる「前期子ども体験教室」が、アイビー・プラザで開講しました。



やさしい書道

7月2日(土)が初回の「やさしい書道」と「折り紙講座」では合わせて18組の参加があり、それぞれの教室で学年に合わせた課題に取り組みました。講師や保護者のアドバイスを受けた子どもたちは、折り紙や筆を手に作品作りを楽しみました。



折り紙講座

家族で楽しくお買い物  
フリーマーケット開催



6月26日(日)に、若草町の中央公園でハスカップフリーマーケットが開催されました。当日は200を超える出店があり、家庭で不要になった衣服や電化製品、手作りの小物などが販売されました。商品が所狭しと並ぶなか、親子連れなどのたくさんの方々が、買い物に満喫していました。

体の中から美しく!  
薬膳料理講座が開講



7月6日(水)に教育・福祉センターで、薬膳料理講座が開講しました。香味野菜や玄米など、美と健康につながる食材を生かして、若返りや美肌に効果的な「美膳食メニュー」を作りました。参加者は、和やかな雰囲気の中で手際よく調理を進め、見た目にも食欲がわく料理3品が完成しました。

## 夢 My Dream

ぼくのわたしの



坪田 史生くん  
(北光小学校6年)

夢は車のデザイナー

とまこまいの  
子どもたちの夢

坪田君は車のデザイナーになりたいという夢を持っています。おじいちゃんが車関係の仕事をしていたこともあり、小さいころから車が好きだったという坪田君。「自分で作った車が走っているのを見てみたい」と思ったことが夢のきっかけになったそうです。

好きなことに取り組むと、時間を忘れてしまつほどに熱中するタイプで、クラスでも車好きで知られており、今では道を走る車を見て車種がわかるほど。手先が器用で、得意科目は図工や家庭科と話す坪田君は、東京モーターショーの本などを読んで、最先端のデザインを研究しながら、「夢に向けて好きな車や作りたい車の絵をたくさん描いている」と教えてくれました。

「20歳くらいには夢を実現したい」という目標を持つ坪田君。車が完成したら、「自分も乗りたいけど、一番に家族を乗せたい」と笑顔で話してくれました。熱意が実り、彼のデザイナーした車が街を走る日は、もうすぐそこま

小・中学生の皆さんの「夢」を200字程度に書いて、写真を添えて送ってください